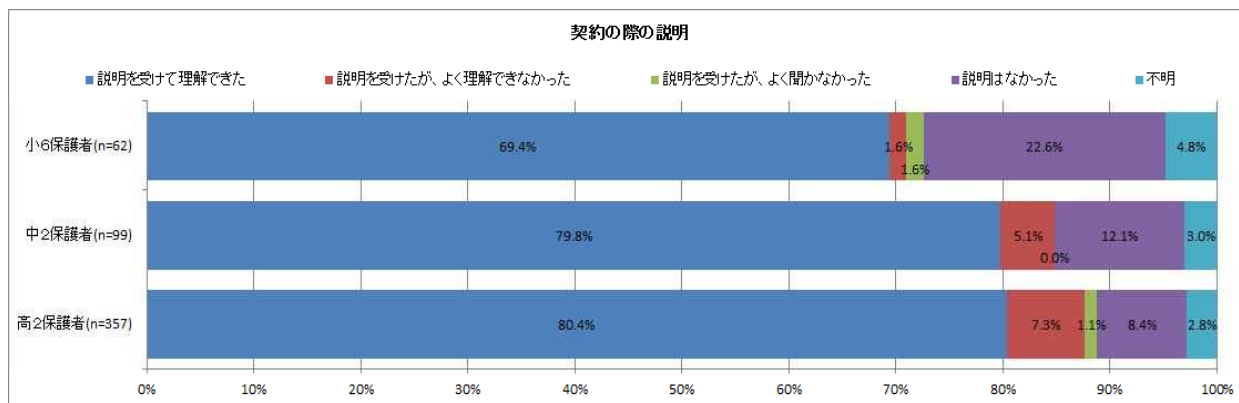


【保護者】Q6. あなたは、お子様のケータイ（またはスマホ）を契約された際、店の人から「インターネットの利用には、リスクが伴うこと」「フィルタリング設定の必要性や重要性」などの説明を受けましたか。

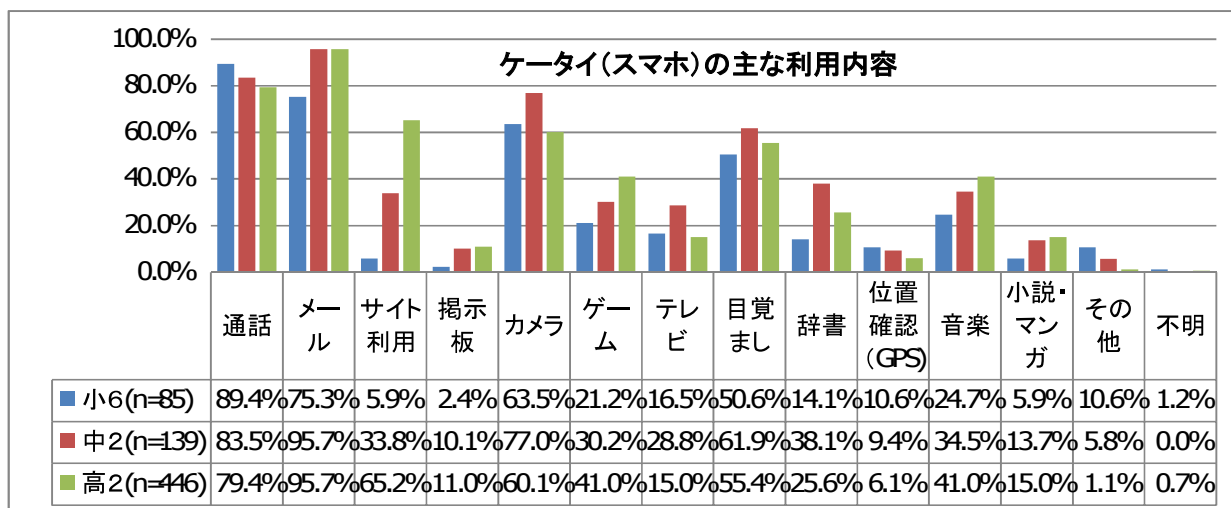


＜店頭におけるインターネット利用に伴うリスクの説明について＞

- ・中2、高2では、約8割の保護者が「説明を受けて理解できた」と答えており、携帯電話販売業者もリスクについての説明に努力していることがうかがえる。
- ・小6については、「説明はなかった」という回答が22.6%あるが、【保護者】Q11で、「ネットに接続できない機種」を購入している例が27.4%であることから、販売業者がフィルタリングの設定が不要な機種の場合には説明をしなかったものと考えられる。

(7)ケータイ(スマホ)の用途について

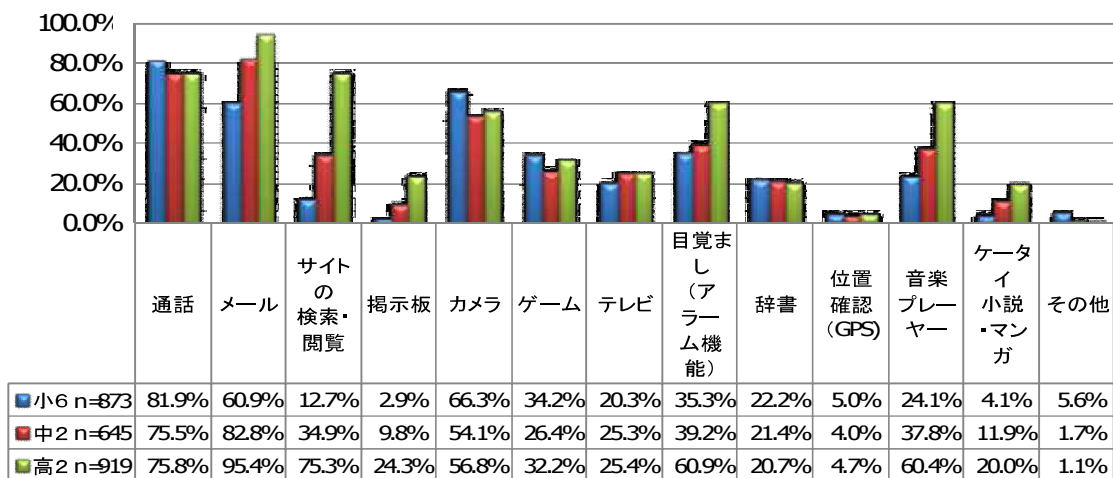
【児童・生徒】Q6. ケータイ（またはスマホ）をおもに何に使用しますか。



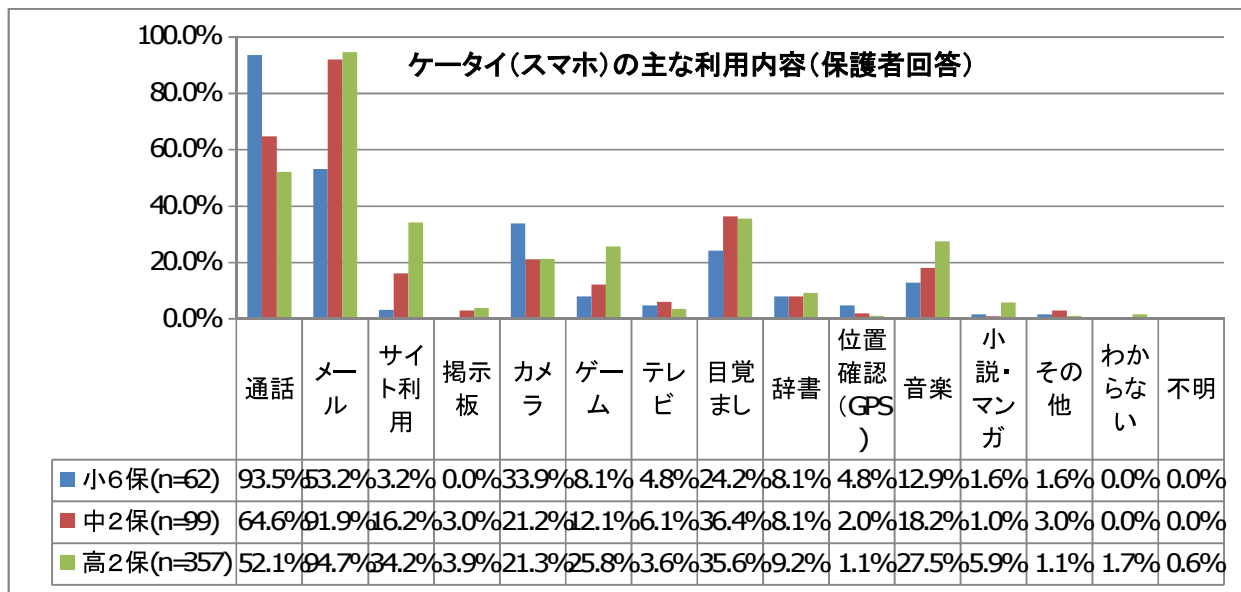
＜ケータイ（またはスマホ）の用途について（児童生徒）＞

- ・どの学年においても、「通話」「メール」が多い。次いで「カメラ」「目覚まし」等の単なるデジタル機器としての用途が挙げられている。
- ・学年が上がるにつれ、「サイト利用」「ゲーム」「音楽」などネット接続を前提とした用途が増える傾向にあり、特に高2では、「サイト利用」が65.2%という高い水準になっている。

<H21(2009)との比較>



【保護者】Q10. あなたのお子様は、ケータイ（またはスマホ）を主に何に使っていますか。

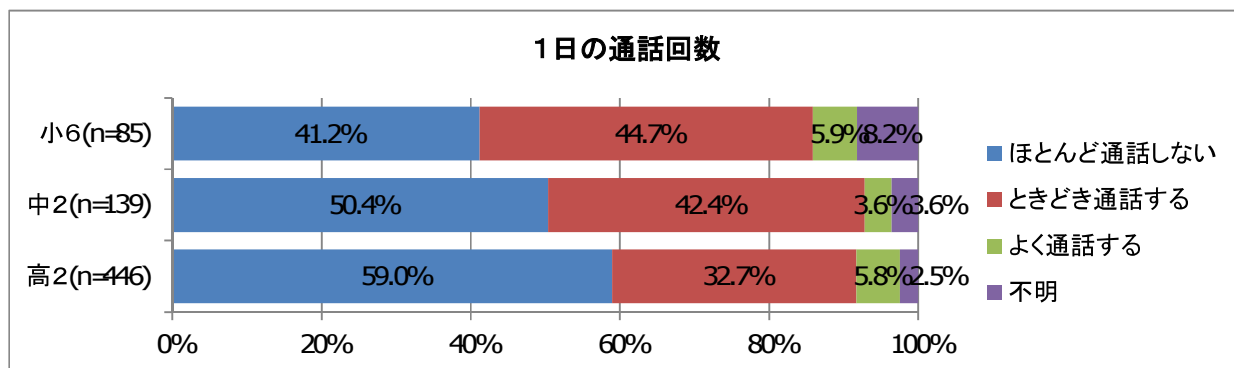


<ケータイ（またはスマホ）の用途について（保護者の把握）>

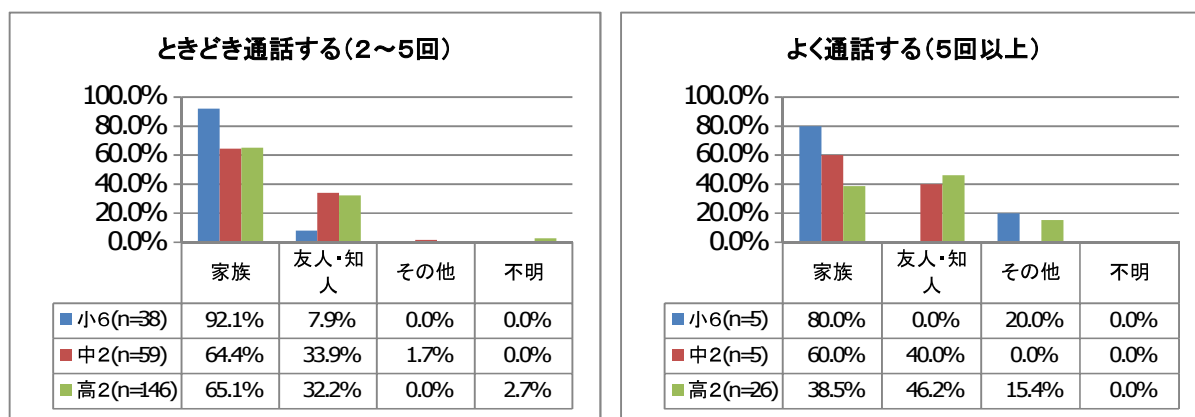
- ・児童生徒の回答との相違をみると、小6保護者が把握している以上に、児童は「メール」を使用しており、中2・高2保護者が認識している以上に、「通話」に使用している。
- ・「通話」「メール」以外の用途でも、保護者の認識は児童生徒の回答に比べかなり下回っており、子どもの使用状況を保護者が十分に把握できていないものと考えられる。

(8) 1日の通話回数と通話相手について

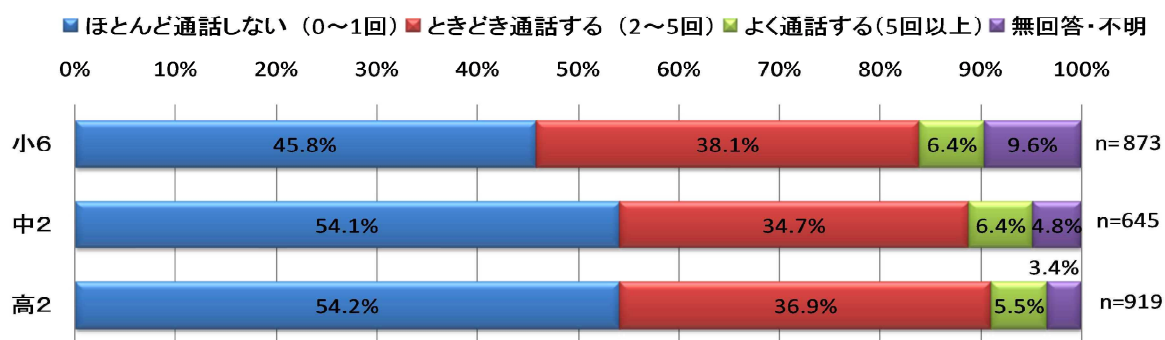
【児童・生徒】 Q 7. ケータイ（またはスマートフォン）での一日の通話回数はどれくらいですか。また、よく電話する相手はだれですか。



<主な通話相手>



<H21(2009)との比較>

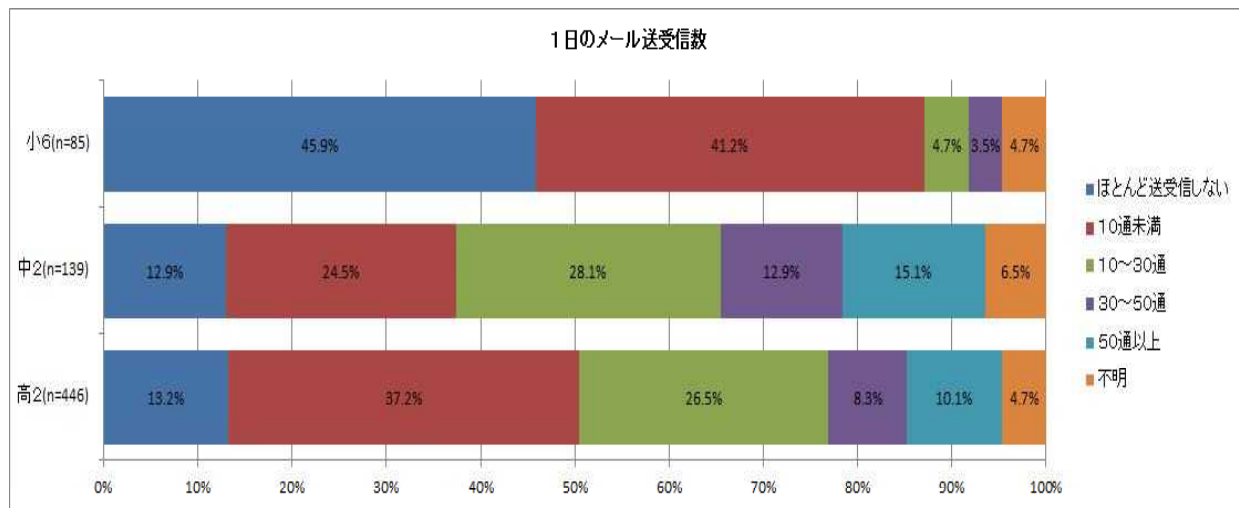


<1日の通話回数と通話相手について>

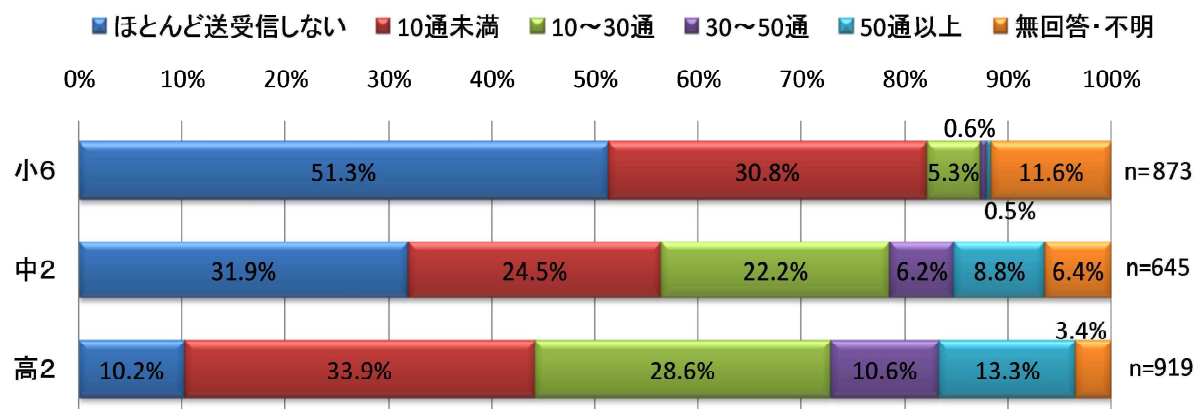
- ・学年が上がるにつれて、ケータイ（スマホ）を「通話」に使用しない割合が増えているが、これはサイト利用のための端末としての使用が増えるためと考えられる。
- ・「ときどき通話する（2~5回）」と回答した児童生徒の通話相手は「家族」が多く、「よく通話する（5回以上）」と回答した児童生徒の通話相手は、「友人・知人」「その他」が増えてくる。特に高2では、「友人・知人」（46.2%）が「家族」（38.5%）を上回っている。

(9) 1日のメール送受信数と送受信相手について

【児童・生徒】Q8. ケータイ（またはスマートフォン）で一日にどれくらいメールを送受信（送信と受信の合計）しますか。またその相手は誰が多いですか。



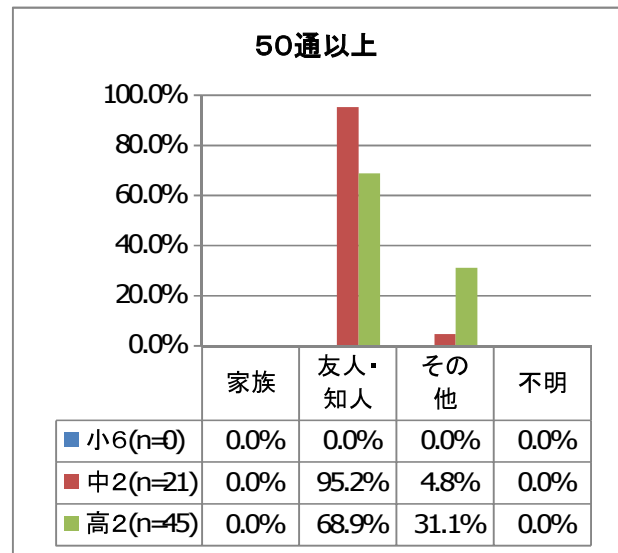
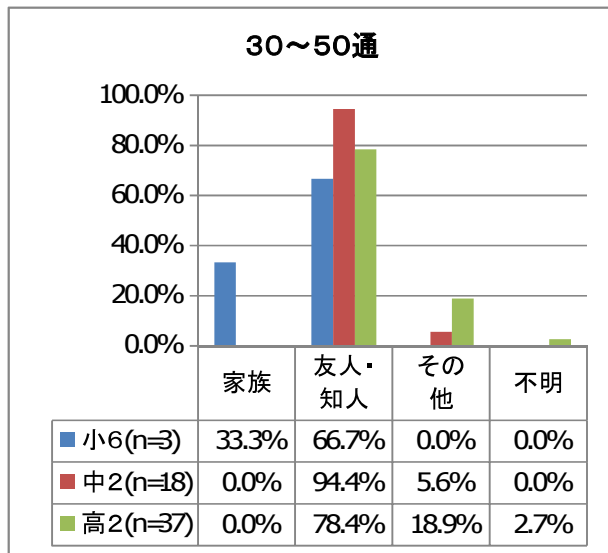
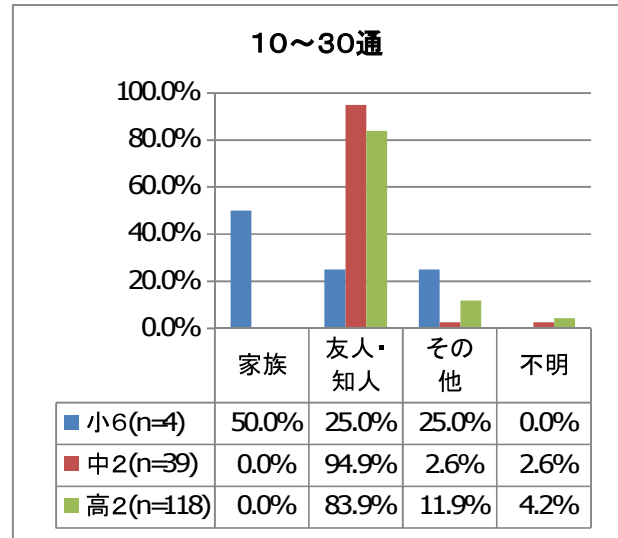
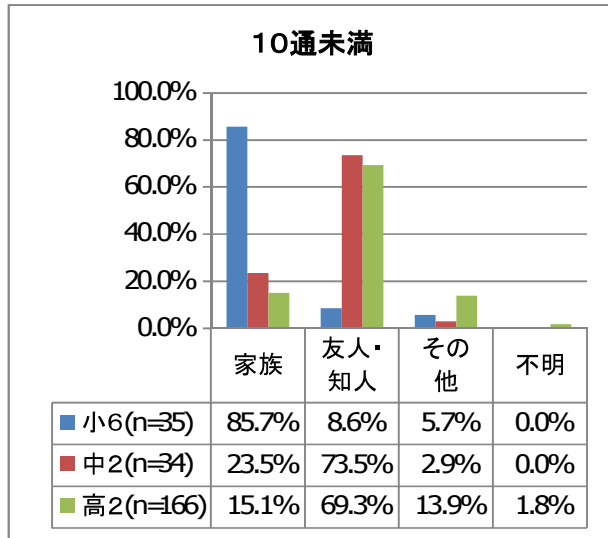
<H21(2009)との比較>



<1日のメール送受信数について>

- ・小6では、「ほとんど送受信しない」と「10通未満」で87.1%を占めている。
中2では、「10～30通」が28.1%で最も割合が高い。
高2では、「10通未満」が37.2%で最も割合が高くなっている。
- ・メールについては、中2が最も送受信数が多く、前回調査（平成21年度）でも同様の結果であった。中学生にはまだ自律性が育っていないことも考えられる。
- ・「50通以上」は中2で15.1%、高2で10.1%となっている。学校にいる時間や睡眠時間を除けば、1日中いつもメールの送受信をしている状態であり、「メール依存・メール中毒」の状態になっていることが危惧される。

<主なメール相手>

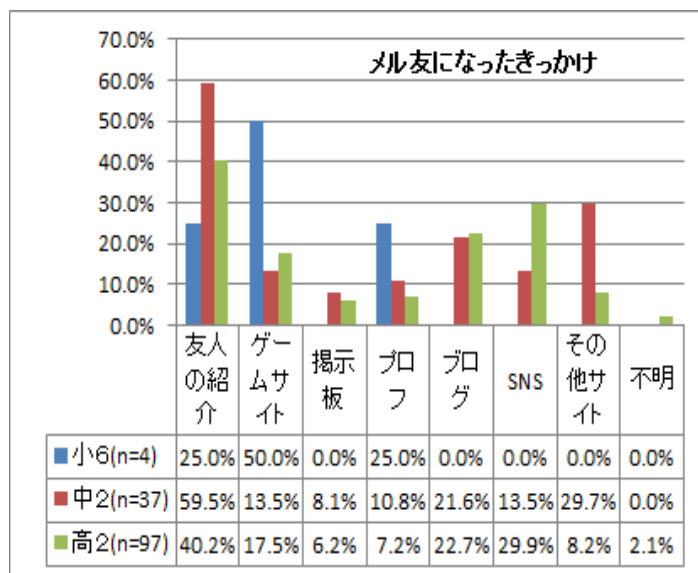
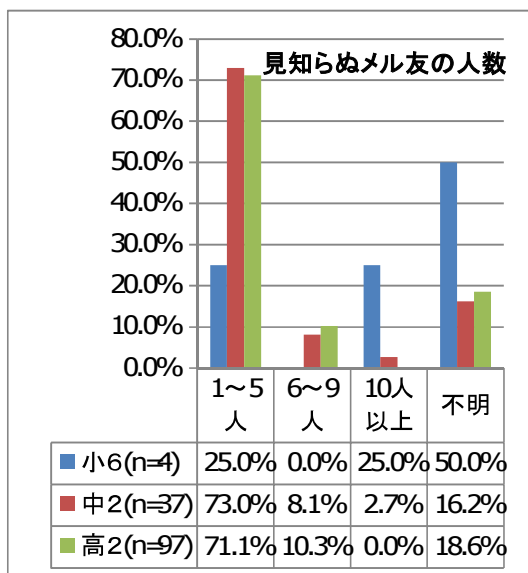
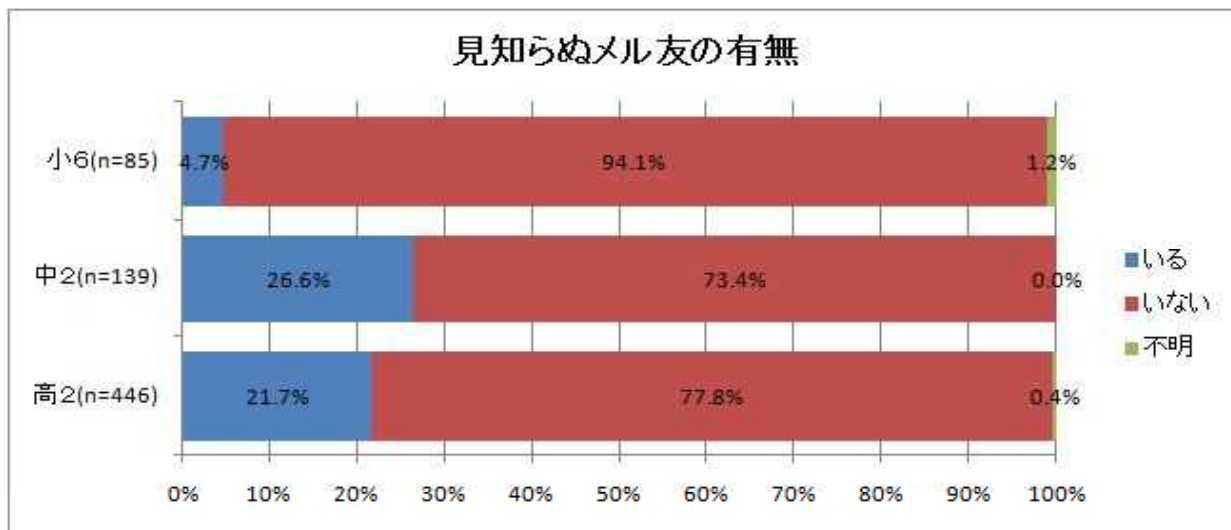


<主なメール相手について>

- ・小6の主なメール相手は「家族」だが、送受信数が増えるにしたがって「友人・知人」が増えてくる。
- ・中2、高2の主なメール相手は「友人・知人」である。
- ・小6にとっては、メールは「家族との連絡手段」であるが、中2、高2になると、「家族との連絡手段」から「友人・知人」との連絡またはコミュニケーションの手段に変わっていくことがうかがわれる。

(10) 会ったことのない(見知らぬ)メル友について

【児童・生徒】 Q 9. あなたには、会ったことのない(見知らぬ)メル友がいますか。

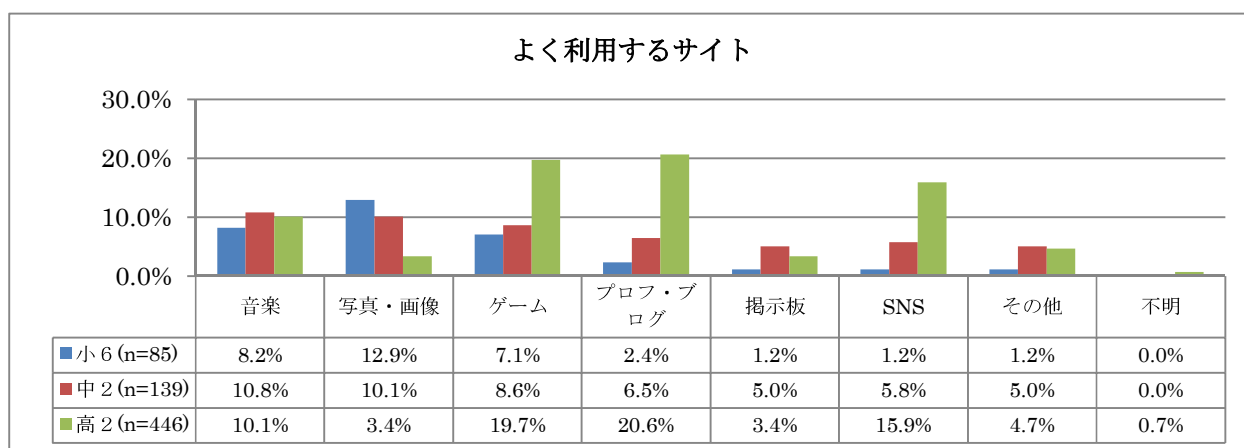
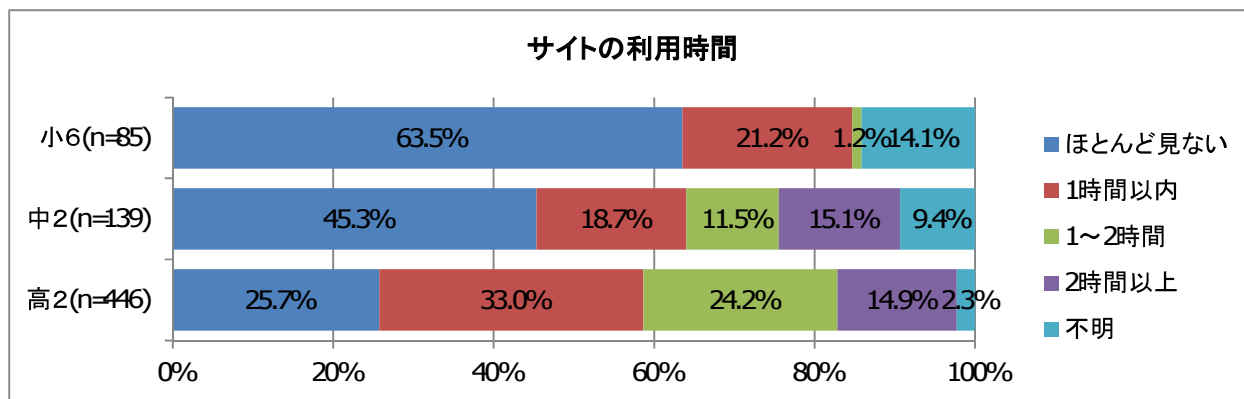


<見知らぬメル友の有無について>

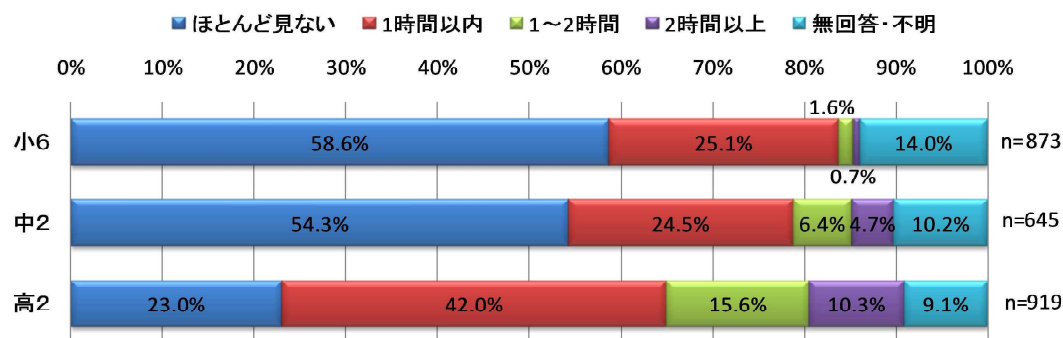
- ・中2では4人に1人、高2では5人に1人が、会ったことのない見知らぬメル友がいると回答している。
- ・中2、高2とも、人数は1～5人が最も多い。
- ・メル友になったきっかけとしては、「友人の紹介」が最も多いが、その他にも「ブログ」「SNS」「ゲームサイト」「プロフ」「掲示板」「その他のサイト」がきっかけになっている。「友人の紹介」も、ネット上で出会った人からの紹介のケースも考えられるため、ネットを介して交友範囲が広がっているといえることができる。
- ・現状では「会ったことのないメル友」であっても、今後実際に「会う」機会が作られることも考えられ、いわゆる「なりすまし」等によって犯罪被害を受ける可能性もある。
- ・ネット上で知り合った人を安易に信用しないという啓発が必要となる。

(11)サイトの利用時間とよく利用するサイトについて

【児童・生徒】Q10. ケータイ（またはスマートフォン）でのサイト利用の時間は、一日どれくらいですか。また、よく利用するサイトはどれですか。



<H21(2009)との比較>

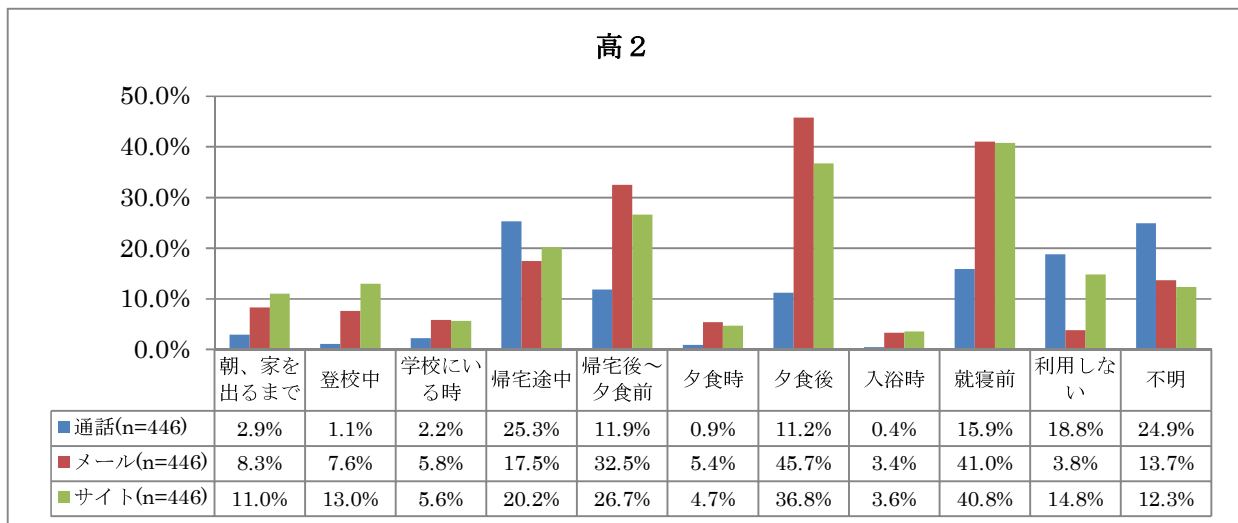
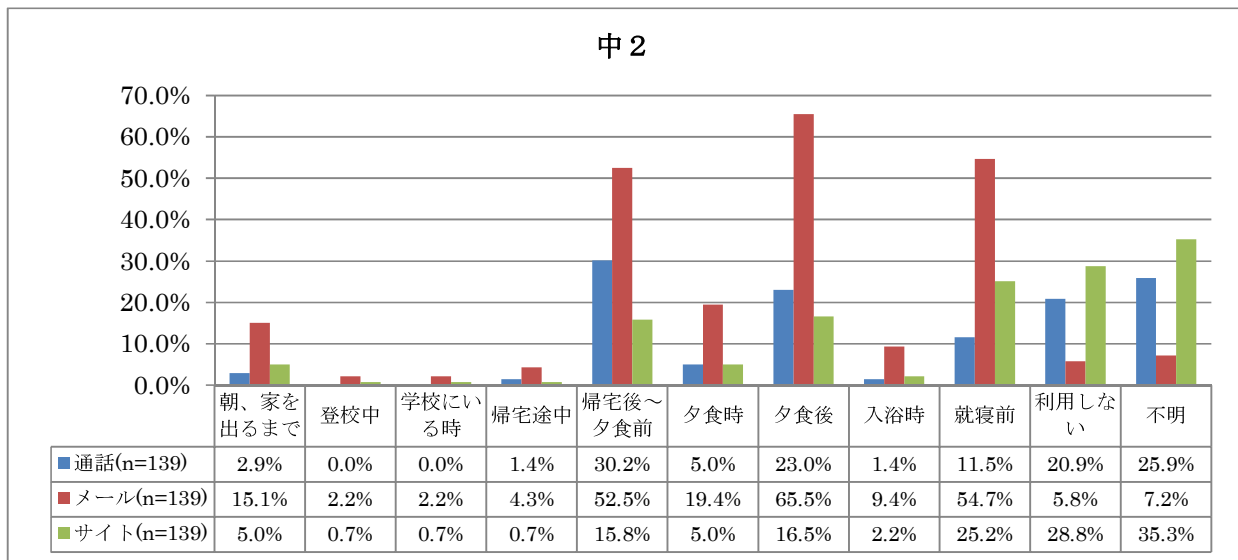
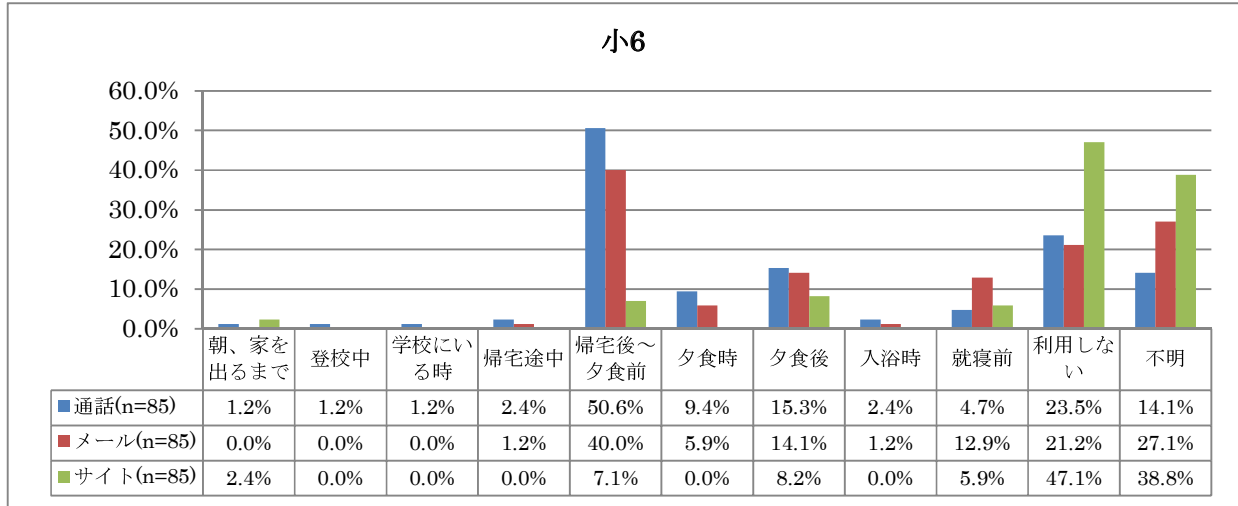


<サイトの利用時間とよく利用するサイトについて>

- ・学年が上がるにつれて、サイトの利用時間が長くなっている。
- ・前回調査（平成21年度）と比較すると、小6ではサイト利用の時間が減っているが、中2、高2では増加している。特に中2のサイト利用時間の増加が顕著であり、「2時間以上」の利用者が4.7%から15.1%に大幅増となっている。
- ・よく利用するサイトとしては、「ゲーム」「プロフ・ブログ」「SNS」が、学年が上がるにつれて増えており、特に中2から高2になる段階で大幅に増えている。

(12)ケータイ(スマホ)を利用する時間帯について

【児童・生徒】Q10. ケータイ（またはスマートフォン）をよく利用する時はいつですか。通話、メール、サイト利用ごとに教えてください。

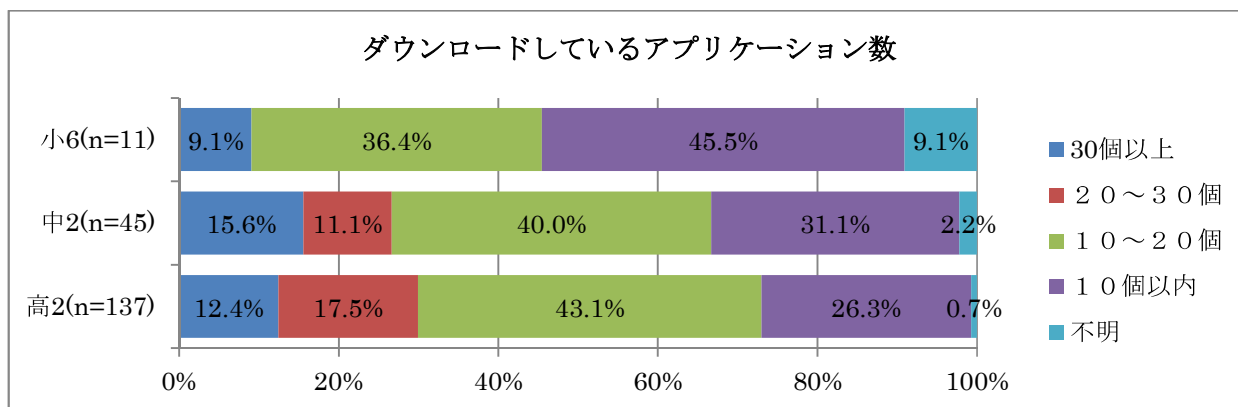


＜ケータイ（スマホ）を利用する時間帯について＞

- ・小6は、「帰宅後～夕食前」に通話やメールをしている児童が多い。通話やメールの相手は家族が多いことから、帰宅の連絡と推察される。
- ・中2では、「夕食後」「就寝前」「帰宅後～夕食前」にメールの利用が突出しており、「夕食時」や「朝」「入浴時」という回答も10～20%程度みられる。
また、「就寝前」にはサイト利用が25.2%みられる。
- ・高2でも中2と同じように、「夕食後」「就寝前」「帰宅後～夕食前」の利用が多いが、登下校中も含め、一日の様々な時間帯で頻繁に利用している様子が見える。
- ・小中学校では、校内へのケータイ（スマホ）の持ち込みが原則禁止されているが、わずかではあるが「登校中」「学校にいる時」「帰宅途中」の利用が見られる。
- ・高校については校内での利用は制限されているが、「学校にいる時」という回答もみられる。

(13)スマートフォンでダウンロードしているアプリケーション数について

【児童・生徒】Q15. あなたは、スマートフォンにどれくらいアプリケーションをダウンロードしていますか。



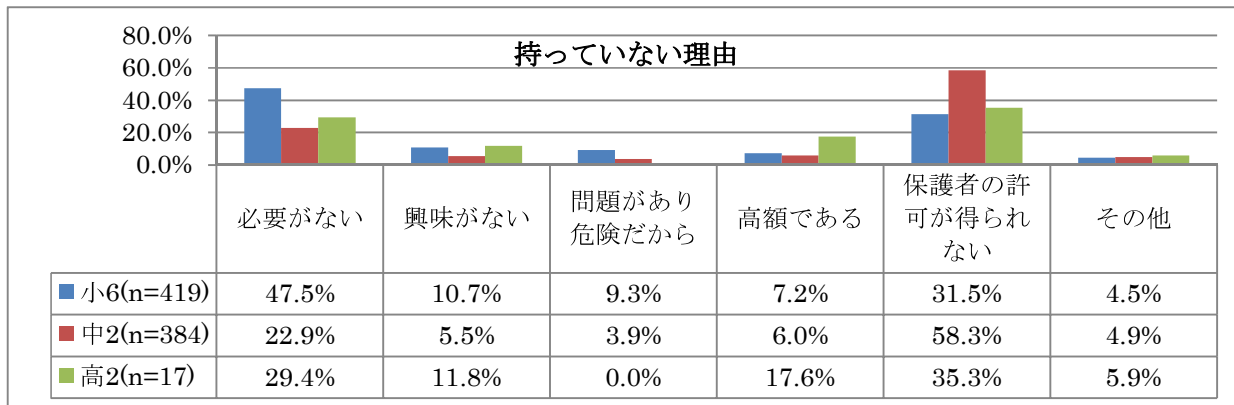
＜ダウンロードしているアプリケーション数について＞

- ・「30以上」のアプリケーションをダウンロードしている者が、小6で9.1%、中2で15.6%、高2では12.4%となっている。
- ・スマホは自分で好きなアプリケーションをダウンロードして使いやすくていいところがケータイとの大きな違いであるため、スマホを持っている児童生徒は、かなりの数のアプリケーションをダウンロードして利用するものと思われる。
- ・アプリケーションには、フィルタリングが効かないものやウイルスを含んだものがあり、安易なダウンロードが危険であること等、セキュリティに関する教育啓発が必要である。

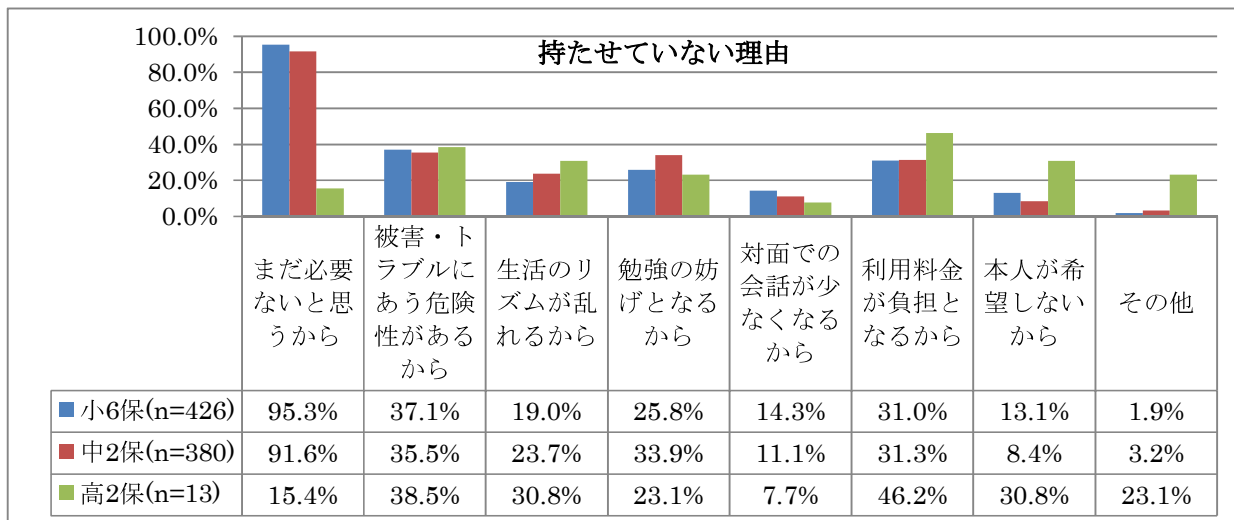
3 持っていない児童生徒・持たせていない保護者の意識

(1) ケータイ（スマホ）を持っていない、持たせていない理由について

【児童・生徒】Q18. 今、持っていない理由があれば、教えてください。



【保護者】Q15. あなたがお子様ケータイ（スマホ）を持たせていない理由は何ですか。



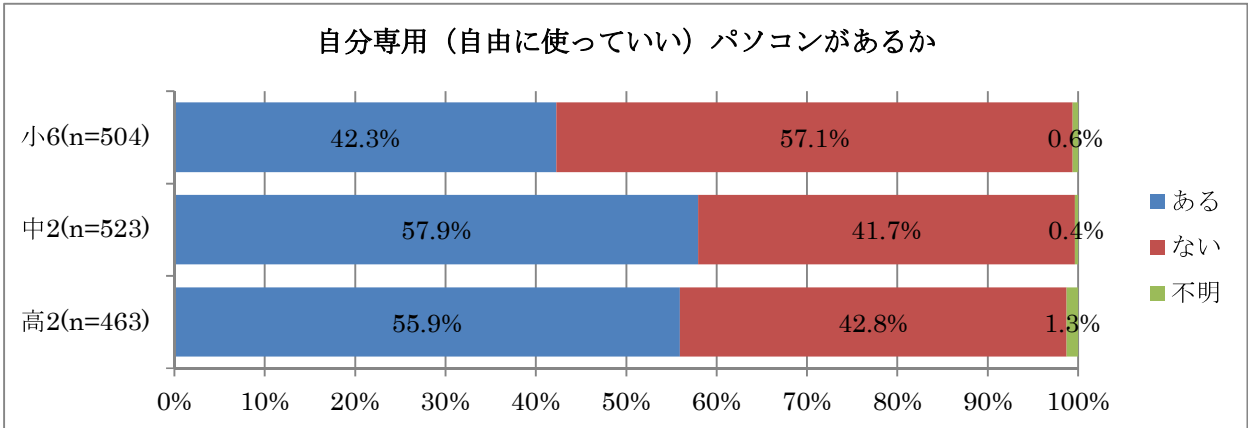
<ケータイ（スマホ）を持っていない、持たせていない理由について>

- ・児童の回答では、ケータイを持っていない理由としては、
 小6では、「必要がない」が約半数、「保護者の許可が得られない」が約3割。
 中2では、「保護者の許可が得られない」が約6割。
 高2では、「保護者の許可が得られない」が3割強であるが、「高額である」という料金面の心配が17.6%となっている点が、小・中学生と大きく異なっている。
- ・保護者の回答では、小6、中2では「まだ必要ない」が9割を越えている。
 次いで「被害・トラブルにあう危険性がある」「利用料金が負担になる」「勉強の妨げになる」と続いており、生活面や学習面での心配や経済的な理由をあげている。
- ・高2の保護者の中では、「利用料金が負担になる」という経済的な理由が最も多いが、次に「本人が希望しない」となっているため、子どもの求めに応じてケータイ（スマホ）を買い与えている様子もうかがえる。

4 パソコンの使用

(1) 自分専用パソコンの有無について

【児童・生徒】Q19. あなたは、自分専用の（または、自由に使ってもいい）パソコンがありますか。

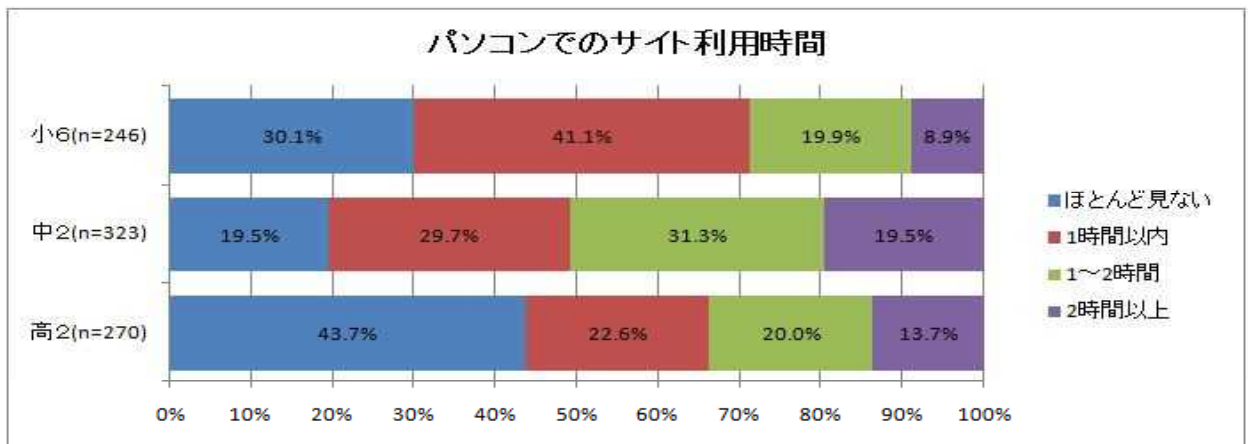


<自分専用のパソコンがあるか>

- ・中2と高2の約6割が自分専用（自由に使用できる）のパソコンを持っている（約6割）。
- ・小6は、中2・高2と比べるとやや少ないが、それでも約4割が自分専用パソコンを持っている。

(2) パソコンでのサイト利用について

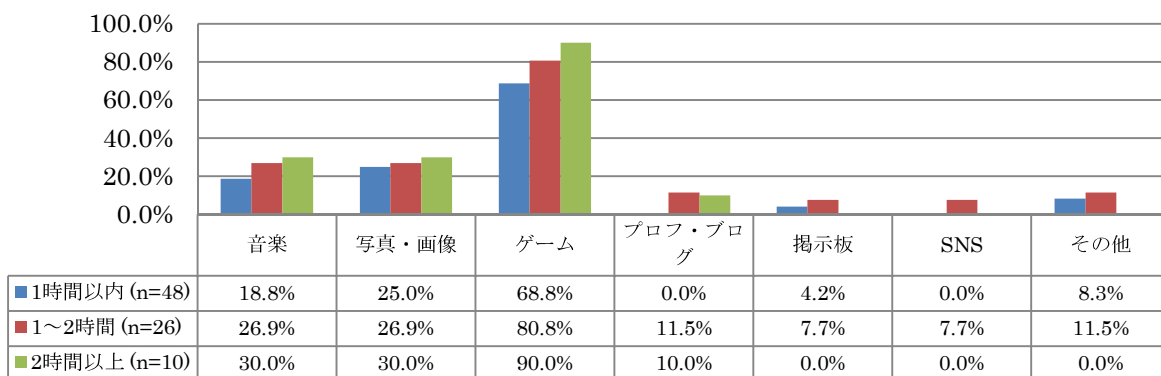
【児童・生徒】Q20. パソコンでのサイト利用の時間は、一日どれくらいですか。また、よく利用するサイトはどれですか。



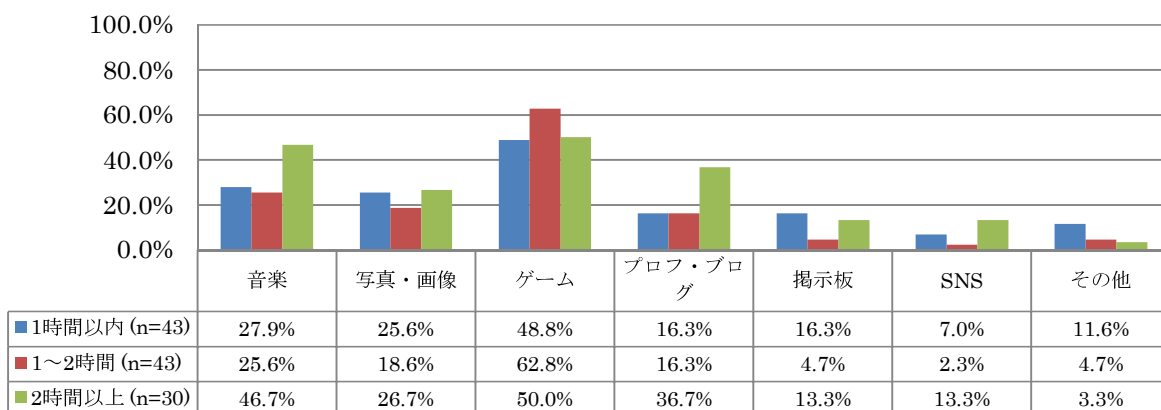
<パソコンでの1日のサイト利用時間について>

- ・小6では、「ほとんど見ない」「1時間以内」が71.2%を占めており、あまり多いとは言えない。
- ・しかし中2になると、「1～2時間」「2時間以上」が50.8%と半数を超え、相当の時間をパソコンでのサイト利用に費やしている。
- ・高2では減少し、「ほとんど見ない」「1時間以内」が66.3%となっている。これはほとんどの者がケータイ（スマホ）を所持しているため、サイト利用にパソコンを要しないためであると推測できる。

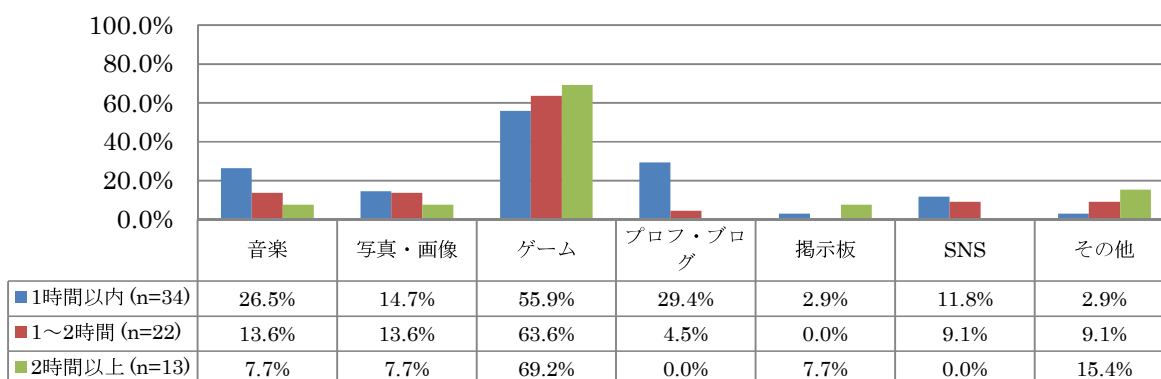
よく利用するサイト (小6)



よく利用するサイト (中2)



よく利用するサイト (高2)



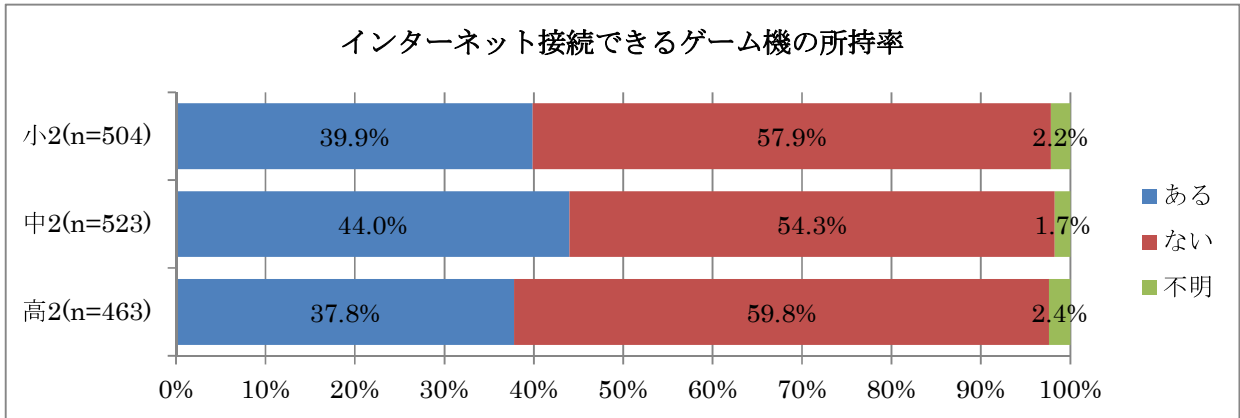
<パソコンでよく利用するサイトについて>

- ・小6では、どの利用時間でも「ゲーム」の利用が最も多い。次いで、「音楽」「写真・画像」「プロフ・ブログ」の利用と続く。
- ・中2では、どの利用時間でも「音楽」の利用が最も多い。利用時間が延びるにしたがって「プロフ・ブログ」「掲示板」の利用が多くなっている。
- ・高2では、「音楽」の利用が最も多く、利用時間が延びるにしたがって、「ゲーム」の利用が増えている。

5 インターネット接続が可能なゲーム機の使用

(1) インターネットに接続できる自分専用のゲーム機の有無について

【児童・生徒】Q23. あなたは、自分専用の（または、自由に使ってもいい）インターネットに接続できるゲーム機がありますか。

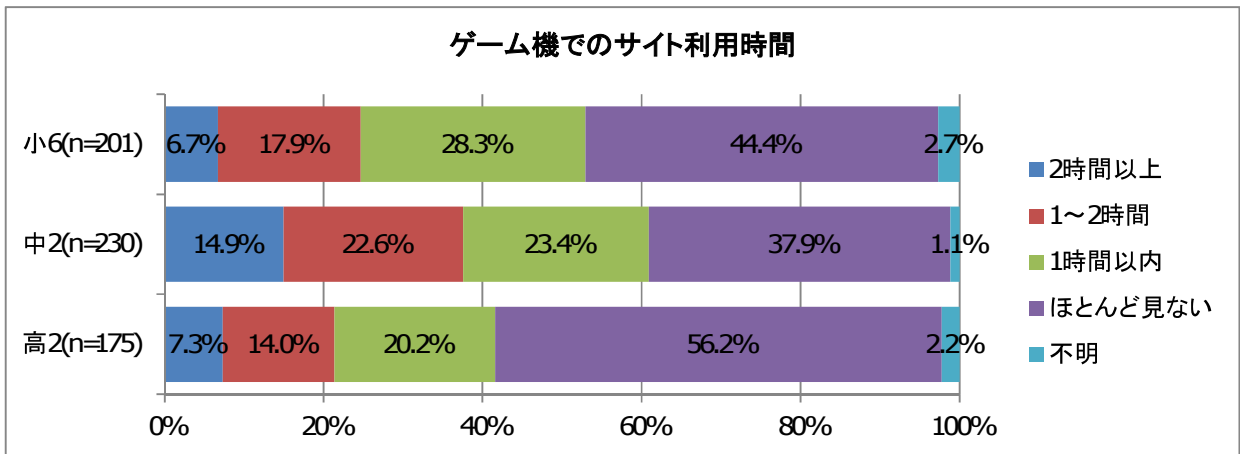


<インターネットに接続できるゲーム機の所持について>

・小6、中2、高2で所持率には大差がなく、40%前後の児童生徒が所持している。

(2) インターネットに接続できる自分専用のゲーム機でのサイト利用について

【児童・生徒】Q24. ゲーム機でのサイト利用の時間は、一日どれくらいですか。また、よく利用するサイトはどれですか。



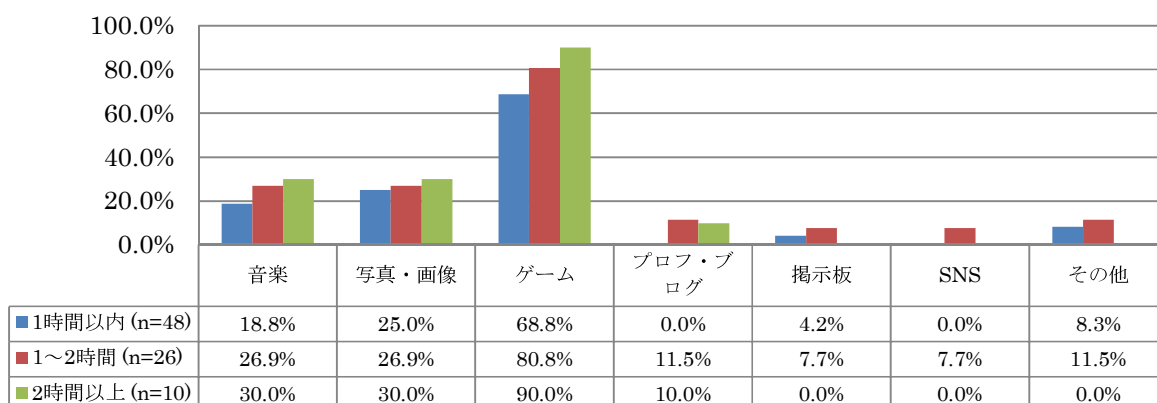
<ゲーム機でのサイト利用時間について>

・インターネット接続できるゲーム機を所持している児童生徒のうち、小6では、52.9%、中2では60.9%、高2では41.5%が、ゲーム機でサイト利用をしている。

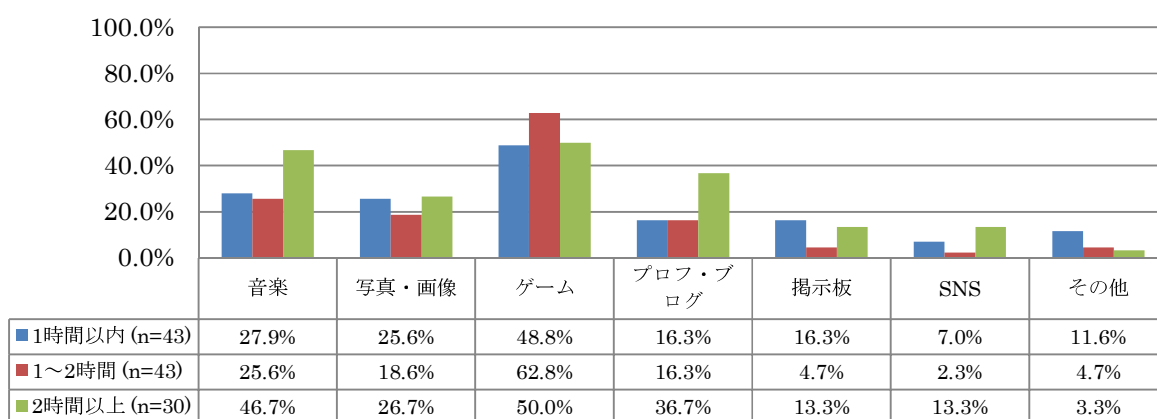
・小6でも約5割、中2では6割がサイト利用をしており、特に中2では1日に2時間以上利用している者が14.9%もある。保護者はゲームで遊んでいるだけと思い、子どものインターネット利用の実態を保護者が十分に認識できていないことも考えられ、ゲーム機の機能についての保護者への十分な啓発が大切である。

・高2では約6割がゲーム機では「ほとんど見ない」としているが、パソコン同様に、ケータイ（スマホ）が利用でき、ゲーム機を使用する必要がないためと考えられる。

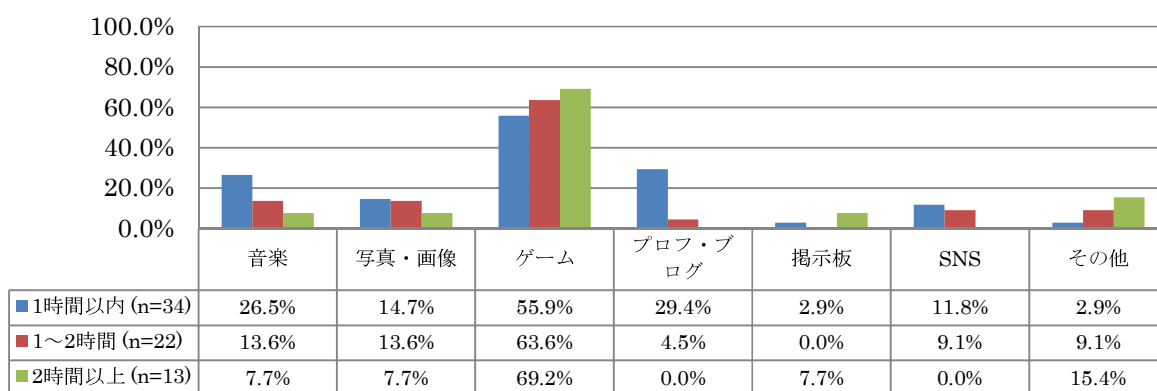
よく利用するサイト（小6）



よく利用するサイト（中2）



よく利用するサイト（高2）



<ゲーム機でよく利用するサイトについて>

- どの学年も、ネット経由の「ゲーム」の利用が非常に多く、次いで、「音楽」「写真・画像」と続いている。
- 多くはないが、「プロフ・ブログ」「掲示板」「SNS」の利用もあり、もはやゲーム機というよりパソコンと同様の利用形態となっている。
- 保護者がこうした実態に気づくことは容易ではないものと推測される。